

中部経済新聞

2014年(平成26年)

6月30日
月曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市市中村区
名駅4-4-10
編集局 052(561)5212
販売局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2014
ホームページ
www.chukei-news.co.jp

プレート式熱交換器、ボールバルブ、
食品機械、医薬用機械、染色仕上げ機械
株式会社 日阪製
名古屋支店 〒4600008 名古屋市市中
区三軒丸の内1-24-91 8R0

中部圏インバウンド セールスプロジェクト

訪日外国人向け旅行提案

美容や健康 などテーマ 本年度3商品投入へ

民間主導で訪日外国人の誘客に取り組む、中部圏インバウンドセールスプロジェクト(事務局名古屋市中村区)は、中国や台湾、東南アジアからの訪日外国人向けの旅行商品の開発に乗り出す。スポーツや美容、福祉などをテーマに、2014年度中に3商品以上の販売をめざす。

(竹田ゆりこ)

中部圏インバウンドセールスプロジェクトは、2012年9月に設立。大澤和宏・名古屋テレビ塔社長が会長を務める。宿泊施設や飲食店、観光施設など中部9県の観光関連61の企業、団体が参加。主に中国をはじめとする海外の旅行会社、個人旅行客向けに中部圏の観光情報を発信している。



昨年、中国人カップルを招いて試験的に実施された「結婚」をテーマにした中部圏の観光ツアーの様子

「昇龍道プロジェクト」とも連携している。年度内にも、「スポーツ・ツーリズム」や「ヘルスケア・ツーリズム」、「ビジネスフェア・工場視察ツアー」などテーマを明確にした旅行商品を企画し、国内外の旅行会社などを通じて販売する方針だ。ターゲットとする国や観光ルート、販売方法など具体的な内容は今後、詰める。

観光庁によると、中部圏の13年度の訪日外国人宿泊者数は延べ300万人を突破し、12年度と比べて34%増加。全国の26%増を上回

る伸び率を見せている。一方で、情報発信の不足や、中部圏の観光に対する認知度の低さなど課題も多い。今後も訪日外国人の増加が予想されており、中部圏インバウンドセールスプロジェクトは観光の受け皿を整えることが急務と判断。中部圏の観光資源を生かす

る伸び率を見せている。一方で、情報発信の不足や、中部圏の観光に対する認知度の低さなど課題も多い。今後も訪日外国人の増加が予想されており、中部圏インバウンドセールスプロジェクトは観光の受け皿を整えることが急務と判断。中部圏の観光資源を生かす

自動車メーカーの販売で利用を促し普及を目指す。この手の手出ししていない「環境」が短いといえる。抱え、販

売上高150億円めざす

富士機械製造 16年3月期の工作機械事業

モジュール型 新製品軸に拡

富士機械製造の曾我信之社長は中部経済新聞の取材に応じ、工作機械事業の売上高を2016年3月期に150億円以上に引き上げる方針を明らかにした。14年3月期の同事業の売上高は103億円。トヨタグループ向けを中心に国内受注が持ち直していることに加えて、電子部品組み立て機の思想を工作機械に組み入れた「DLFn(ドルフィン)」を本格的に売り出すことで、売上高を今後2年で5割程度引き上げる考えだ。(今井潤)

富士機械の15年3月期の工作機械事業の売上高は、前期比16・8%増の120億円を見込む。曾我社長は「自動車関連を中心に国内受注が伸びている」と指摘。



東証 売買10銭刻

有力銘柄で来月22日

東京証券取引所は7月22日から、一部有力銘柄を対象に株式の売買注文を出すことができる値段を最小1円刻みから10銭刻みに変更する。投資家の希望により

や取引量が大きい銘柄。千円で注文する

器販売、レンタル、映像ソフト制作
株式会社
の内三丁目18番28号
-3011 http://www.ksg.co.jp
松・豊橋・岡崎・豊田・岐阜・三重

の紙面

面
需要確保

ストラン夏商戦

面
海外研修制度開始

面
投資拡充

面
産業界発展にらむ

面
観光アピール

面
個人旅行誘客に力

面
「花」を国内発売

面
ウェア・カワイ

面
クラブ会員拡大へ

面
ルーガオーナー